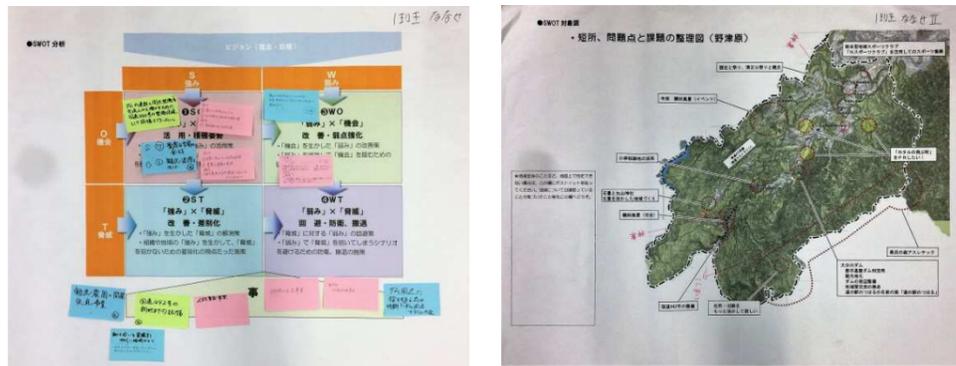


- ②コンセプトを踏まえ、SWOT分析により事業を抽出しました。
- ③事業の抽出と共に該当する地点をSWOT対象図に落としていきました。
- ④まちづくりアイデアを導き出した考案者が班のメンバー及び市職員と共に話し合い事業を導きました。



- ①SO「S:強み」×「O:機会」(活用・積極姿勢)
 - ・「機会」に応じた「強み」の活用策
 - ・組織や地域の「強み」を生かして、「機会」を勝ち取るための積極姿勢の施策
- ②ST「S:強み」×「T:脅威」(改善・差別化)
 - ・「強み」を生かした「脅威」の解消策
 - ・組織や地域の「強み」を生かして、「脅威」を招かないための差別化の視点たった施策
- ③WO「W:弱み」×「O:機会」(改善・弱点強化)
 - ・「機会」を生かした「弱み」の改善策
 - ・「弱み」を補強して「機会」を掴むための弱点強化の施策
- ④WT「W:弱み」×「T:脅威」(回避・防衛、撤退)
 - ・「脅威」に対する「弱み」の回避策
 - ・「弱み」で「脅威」を招いてしまうシナリオを避けるための防衛、撤退の施策

1班(ななせ班)

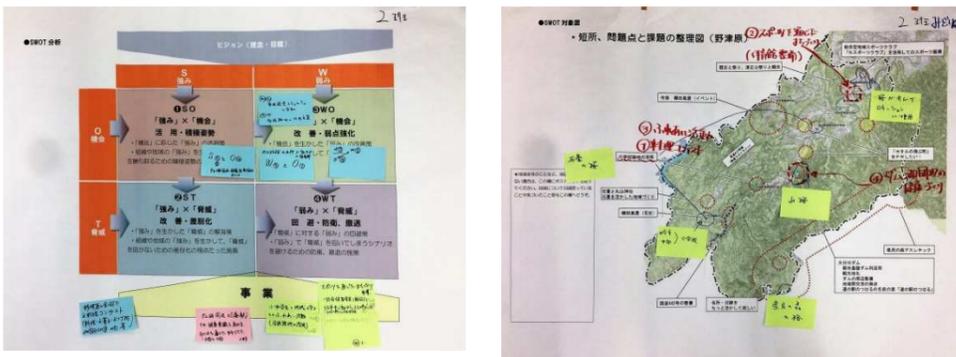


抽出された事業

- ①観光農園の開発促進事業 (SO)
- ②国道442号の朝地までの拡幅 (SO)
- ③助け合いを実現するやさしい地域づくり (WO)
- ④地域の交流事業 (SO)
- ⑤野津原収穫体験事業 (SO)
- ⑥ダム周辺に桜を植え開花の時期にダム周辺マラソン大会 (SO)



2班(みどりの班)



抽出された事業

- ①野津原の食材でお料理コンテスト (SO)
- ②スポーツを通じたまちづくり事業 (WO)
- ③小中学校と地域の方々とのふれあい活動 (WO)
- ④ダム湖周辺における健康づくり事業 (SO)
- ⑤野津原の桜の名所×ウォーキング×(桜の)特産物 (WO)



■成果発表: 班で導いた事業の主要なポイントを発表しました。

番号	事業名	コメント
①	観光農園の開発促進事業	・野津原の一村一品を観光に活かす(にら、いちご、豊の七瀬柿、しいたけ、豊後牛) ・ぶどう、いちごなどの観光農園や、商品の開発(地域資源を利用)
②	国道442号の朝地までの拡幅	・ダムや交流拠点の建設に伴い、442号を拡幅する必要がある(交流人口の増加)
③	助け合いを実現するやさしい地域づくり	・野津原には優れた人、物が多いが活かされていない ・それらを繋げるコーディネーターが必要 ・人づくり、リーダーの育成が重要。コミュニティがなくなりつつある
④	地域の交流事業	・地域の交流の場としての小学校の跡地の利活用(今市小・中部小・西部小跡)
⑤	野津原収穫体験事業	・ダムの周辺などでも掘りなどの収穫体験実施 ・親子でダムにも遊びに来るのは
⑥	ダム周辺に桜を植え開花の時期にダム周辺マラソン大会	・野津原は外部の人を呼び込むまちづくり、地域振興が必要(ダム周辺整備が重要) ・ダム周辺の周回道路に桜を植えマラソン大会を実施する ・併せて交流拠点や食事などそれ以外の観光面の強化も必要 ・1日観光客に楽しんでもらう

【1班(ななせ班)】

皆さんが導いた事業については、殆どが納得できる事業だと思います。本当に1班の方も真剣に考えて頂きまして、ここにありますようにこれを進めていきたいと考えています。

事業名1番は、観光農園の開発促進事業。2番が、国道442号の朝地までの拡幅。3番が助け合いを実現するやさしい地域づくり。4番が地域の交流事業、学校の跡地とか、そういうところで交流ができればなということです。5番は野津原収穫体験事業ということで、収穫体験ができるようなことがあれば親子でダムに遊びに来るのではといった事業で、6番はダム周辺での桜の植樹やマラソン大会を実施する事業です。

番号	事業名	コメント
①	野津原の食材でお料理コンテスト	・小学校跡地で子どもから高齢者まで参加できる料理コンテストを実施(料理、お菓子、お漬物等) ・野津原の多世代交流を促進 ・小学校跡地や交流拠点で優勝者考案の商品を喫茶などで販売
②	スポーツを通じたまちづくり事業	・避難所としても利用できる総合体育館を新設する(公民館に避難するのは怖いという意見あり) ・地域づくりの為に大きなスポーツ施設がない ・大分市中心部から人呼び込む
③	小中学生と地域の方々とのふれあい活動	・小学校の合併で校区のふれあい活動をどうするか ・小学校跡地等を校区公民館とし、地域のふれあい活動を実施
④	ダム湖周辺における健康づくり事業	・ダム湖周辺での健康意識を高めるイベントを実施(ウォーキング、マラソン) ・高齢化の中では健康で長生きすることが大事 ・集客を増やすのに食を絡めることが必要(健康食品や季節の食材など)
⑤	野津原の桜の名所×ウォーキング×(桜の)特産物	・野津原は桜の名所が多い ・バスやウォーキング、マラソンなどで巡るイベントの実施 ・桜を活かした野津原の特産品を開発

【2班(みどりの班)】

1番目は、野津原の食材を使ってのお料理コンテスト、場所は小学校の跡地を活用します。2番目はスポーツの拠点づくり事業ということで、支所の周辺ということです。3番目が小学校の跡地利用について、学校で行っていたふれあい活動などの行事をそのまま跡地を利用して活動していったらどうかという事業です。4番目はダム湖周辺の健康づくり事業です。あとは、野津原は桜が多いので、桜の名所のウォーキング等いろいろ行って、桜の特産物等を作ったらいいのではないかとこの事業です。